

## 4 試験研究の取組

### 水産試験研究機関の復旧状況

県内の水産試験研究機関は、内水面水産試験場を除き壊滅的な被害を受けましたが平成28年度にはすべての施設の復旧が完了しました。

3隻の漁業調査指導船「蒼洋(19トン)」、「拓洋丸(120トン)」、「新宮城丸(450トン)」も被害を受けました。震災後は2隻体制とし、「開洋(19トン)」と「みやしお(199トン)」を建造しました。



《水産試験研究機関の位置図》

### 水産試験研究機関の概要

#### ①水産技術総合センター(本所)

〒986-2135 石巻市渡波字袖ノ浜97-6

本県中・南部地域における水産業の復旧・復興業務をはじめ、養殖業に係る技術の指導・改良・開発や調査船による漁業資源調査・海洋観測、仙台湾や松島湾などの漁場環境調査、魚病等に係る調査研究及び水産物利用・加工の試験研究などを行っています。

#### ②水産技術総合センター 気仙沼水産試験場

〒988-0241 気仙沼市波路上岩井崎107

本県北部地域における水産業の復旧・復興業務をはじめ、気仙沼湾、志津川湾での漁場環境調査、貝毒原因プランクトンのモニタリング調査、ワカメ、ホタテ、カキ、ホヤ等の養殖技術の指導・改良・開発、アワビ・ウニ類等の資源管理・増養殖技術の開発などを行っています。



#### ③水産技術総合センター 内水面水産試験場

〒981-3625 黒川郡大和町吉田字旗坂地内

河川及び湖沼の水産資源に関する調査研究、増養殖技術の改良・普及指導、ギンザケ・イワナ・サクラマスなどの育種や継代飼育を行っています。

#### ④水産技術総合センター水産加工開発部 水産加工公開実験棟

〒986-0022 石巻市魚町2-2-3

原料の処理から加工製品を作る設備などの機械設備を多数導入し、水産加工業者との共同研究、製品開発・改良等への技術支援・6次産業化への支援などを行っています。



#### ⑤水産技術総合センター養殖生産部 種苗生産施設

〒985-0812 七ヶ浜町松ヶ浜字浜屋敷142-1

栽培漁業の拠点としてアワビやアカガイの種苗生産、ヒラメの中間育成などを行い、種苗の配布や放流を行っています。



## 試験研究の主な取組



気仙沼湾、志津川湾、仙台湾、松島湾などの水質・底質などの漁場環境調査を行っています。



子供達・一般市民を対象としたワークショップ等で、魚の年齢の調べ方、資源管理の重要性などについてわかりやすく説明するなど、試験研究成果の普及啓発を行っています。



高品質なカキを新しい養殖技術で生産しています。生産されたカキは「あまこる牡蠣」として東京のオイスターバーなどに出荷され、大変好評です。



アワビ、ウニなど岩礁域の水産資源を継続的に利用できるような調査研究を行っています。



加工企業からの相談に対する技術的支援などを行っています。



全雌三倍体イワナ（伊達いわな）の種苗生産・配布と普及、ギンザケ高成長系統の作出等を行っています。

## 迅速な情報の発信

海は気象海況の影響を受けて日々刻々と変化しています。本県では水温・塩分・漁獲量などの漁海況情報や各種の調査研究結果、放射能検査結果など最新情報を、水産関係者をはじめ広く県民の皆様に提供しています。

インターネット・FAX・  
携帯電話等を利用した  
迅速な情報提供

漁海況情報

養殖通報  
カキ、ノリ、ホタテガイ  
ワカメ、ホヤ等

貝毒情報

放射能情報

## 漁業調査指導船「開洋」

総トン数 / 19トン(長さ15.90m、幅4.30m、深さ1.50m)

主 機 関 / ディーゼル機関610kw

最大速力 / 17.9ノット

航海速力 / 15.1ノット

乗 組 員 / 4名

竣 工 / 平成25年3月27日

調査海域 / 沿岸域



## 漁業調査指導船「みやしお」

総トン数 / 199トン(長さ36.07m、幅7.60m、深さ3.20m)

主 機 関 / ディーゼル機関1,471kw

最大速力 / 14.5ノット

航海速力 / 13ノット

乗 組 員 / 10名

竣 工 / 平成26年3月31日

調査海域 / 沖合域

